

令和 2 年度「市民意識調査」 結果概要

令和 3 年 10 月 13 日（水）
第 1 回交野市基本構想審議会

目 次

調査の概要	2
交野市での定住意向	3
交野市への好意度	3
交野市での暮らしにおける満足度	4
交野市の今後のまちづくりにおける重要度	5
28項目のうち、今後において特に重要と思うこと	6
満足度と重要度の相関図	8
交野市の人口減少の取り組みについて	11
人口減少対策で特に重要と思うことについて	12
新型コロナウイルス感染症による生活の変化	13
新型コロナウイルス感染症により困っていること	13

調査の概要

調査目的： 「交野市総合計画基本構想」及び「交野市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等を含め、交野市のまちづくりに関する市民の意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施。

調査対象： 18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

調査方法： 郵送配布、郵送回収

調査期間： 令和3年1月15日から同年1月31日まで

回収結果： 配布数 2,000件 有効回収数 1,023件（有効回収率 51.2%）

《回答者の属性》

年齢層	回答数	割合
29歳以下	74	7.2%
30歳代	106	10.4%
40歳代	165	16.1%
50～64歳	251	24.5%
65～74歳	218	21.3%
75歳以上	204	19.9%
不明・無回答	5	0.5%

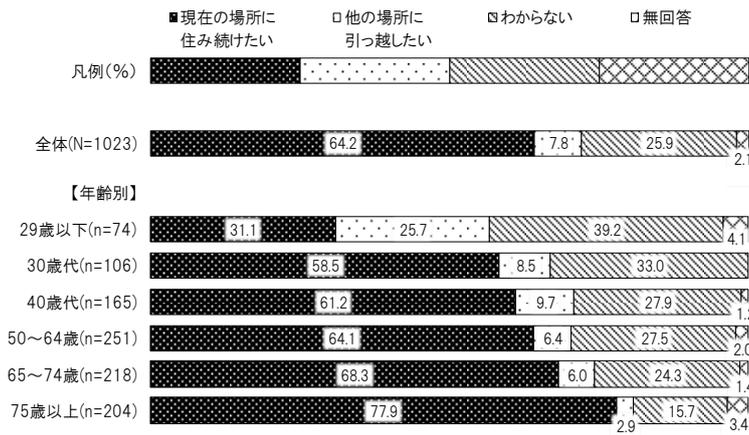
（左表のうち同居の中学生以下の子どもの有無の割合）

年齢層	あり	なし	無回答
29歳以下	16.2%	82.4%	1.4%
30歳代	65.1%	34.9%	0%
40歳代	60.6%	39.4%	0%
50～64歳	14.7%	83.3%	2%
65～74歳	8.7%	87.2%	4.1%
75歳以上	2.9%	91.2%	5.9%

（上表のうち「30・40歳代」と「65歳以上」をまとめた数値）

年齢層	回答数	割合
29歳以下	74	7.2%
30・40歳代	271	26.5%
50～64歳	251	24.5%
65歳以上	422	41.2%
不明・無回答	5	0.5%

交野市での定住意向（報告書 P17～ 問 4）



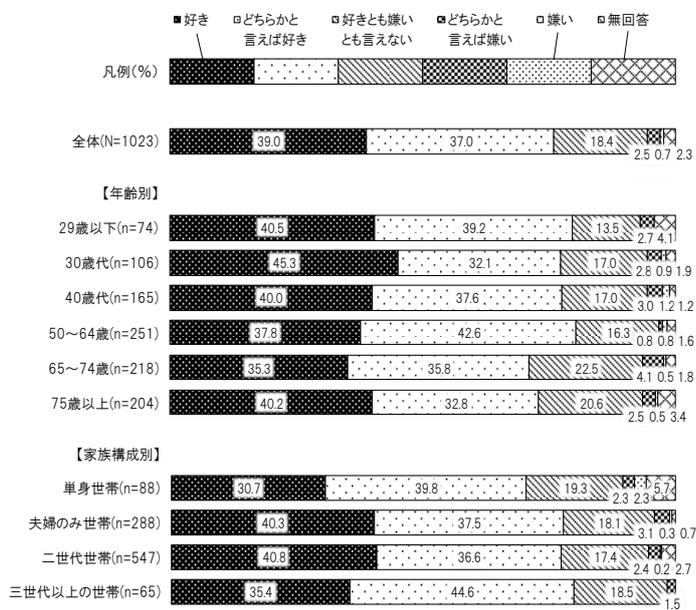
【参考】平成24年度 市民満足度調査結果より

交野市に住みつづけていますか

選択肢	件数	%
1. 住みつづけています	521	75.8
2. いずれ移転したい	36	5.2
3. すぐにもでも移転したい	2	0.3
4. わからない	114	16.6
5. 無回答	14	2.0

- ・ 全体で「現在の場所に住み続けたい」が64.2%、「移転したい」が7.8%である。平成24年度の市民満足度調査では「住み続けたい」が75.8%、「移転したい」が5.5%であった。
⇒「交野に住み続けたい」の割合は低下したが、「移転したい」の割合に大きな変化はない。「わからない」の割合が増加（【H24→R2】で9.3%上昇）した分が、「住み続けたい」人の低下につながっているとみられる。
- ・ 年齢別では、29歳以下で「他の場所に引っ越したい（25.7%）」が他の年齢層を大きく上回っており、「現在の場所に住み続けたい」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にある。

交野市への好意度（報告書 P37～ 問 10）



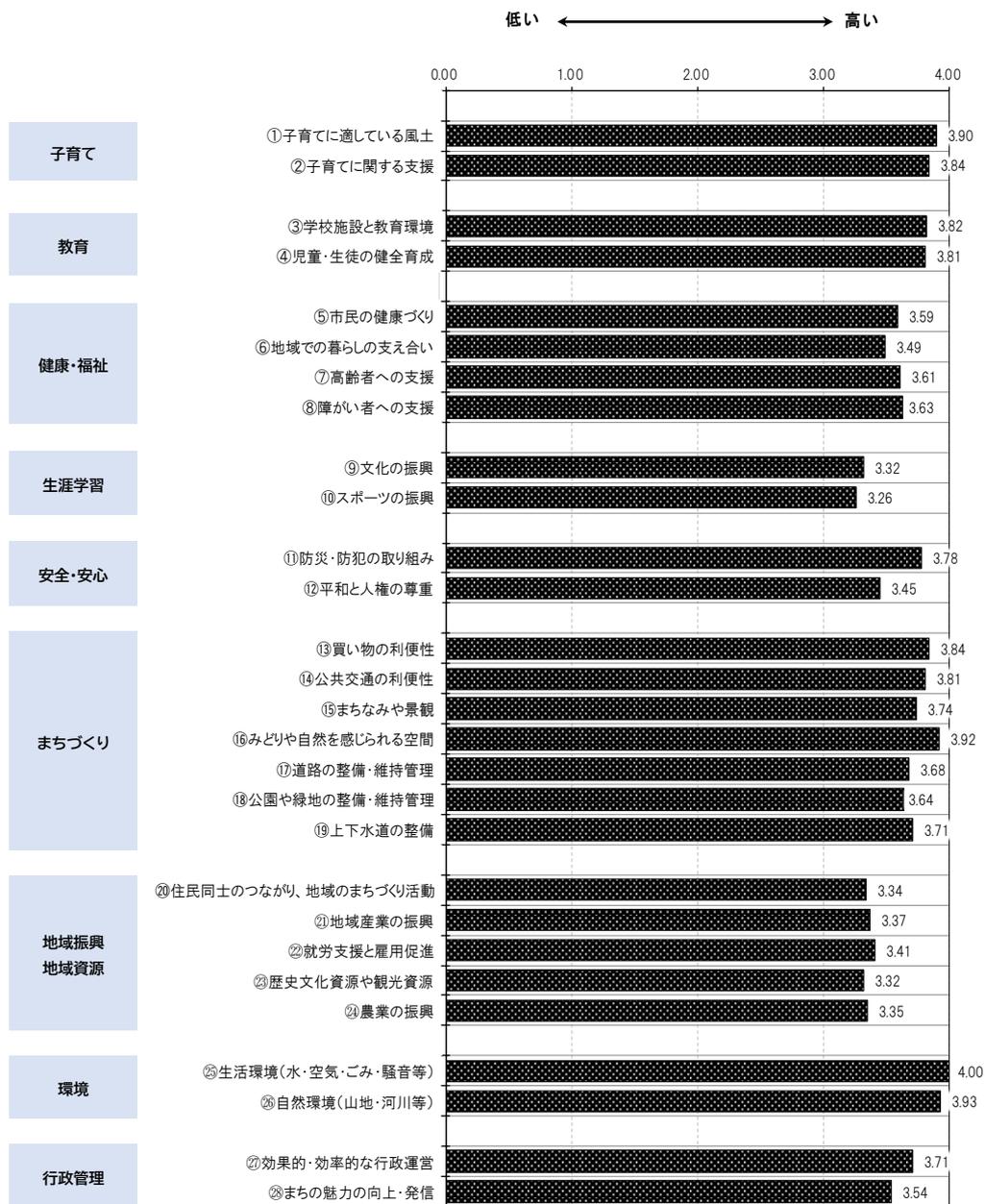
【参考】平成24年度 市民満足度調査結果より

交野が好きですか

選択肢	件数	%
1. 好き	538	78.3
2. きらい	3	0.4
3. どちらでもない	126	18.3
4. 無回答	20	2.9

- ・ 交野市への好意度は、全体で合計76.0%が『好き』と回答している。平成24年度の市民満足度調査では、「好き」が78.3%であり、市民の好感度は一定高水準を保ち続けている。
- ・ 年齢別での「好き」の割合は、30歳代が最も高く（45.3%）、65～74歳が最も低い（35.3%）。
- ・ 家族構成別での「好き」の割合は、単身世帯が最も低い（30.7%）。

交野市の今後のまちづくりにおける重要度（報告書 P46～ 問 11）

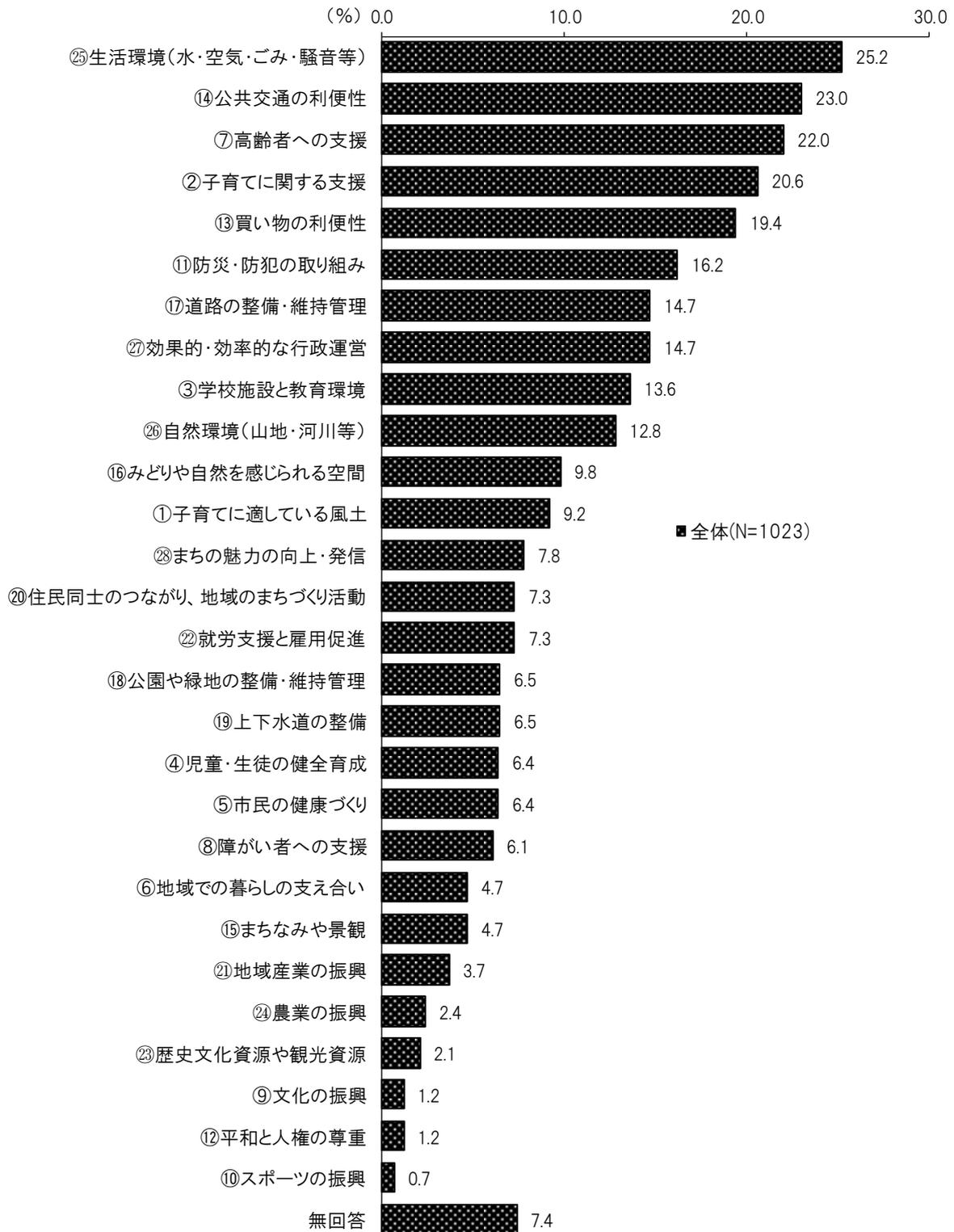


重要度評価が高い項目		
1	㉕生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	4.00
2	㉖自然環境（山地・河川等）	3.93
3	⑯みどりや自然を感じられる空間	3.92
4	①子育てに適している風土	3.90
5	⑬買い物の利便性 ②子育てに関する支援	3.84

重要度評価が低い項目		
1	⑩スポーツの振興	3.26
2	⑨文化の振興	3.32
3	㉓歴史文化資源や観光資源	3.32
4	⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	3.34
5	㉔農業の振興	3.35

- ・ 環境（生活・自然環境）の重要度が高い（満足度も高い）。
- ・ 子育てに関する項目、買い物の利便性の重要度が高い。
- ・ 生涯学習や地域振興・地域資源への重要度が全体的に低い。

28項目のうち、今後において特に重要と思うこと（報告書 P57～ 問 11）



※回答は3つまでの複数回答

単位 (%)	②生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)	⑭公共交通の利便性	⑦高齢者への支援	②子育てに関する支援	⑬買い物の利便性	⑪防災・防犯の取り組み	⑰道路の整備・維持管理	⑯効果的・効率的な行政運営	③学校施設と教育環境	⑮自然環境(山地・河川等)	⑩みどりや自然を感じられる空間	①子育てに適している風土	⑧まちの魅力の向上・発信	⑫住民同士のつながり、地域のまちづくり活動
全体(N=1023)	25.2	23.0	22.0	20.6	19.4	16.2	14.7	14.7	13.6	12.8	9.8	9.2	7.8	7.3
【性別】														
男性(n=370)	25.9	22.7	20.8	21.9	16.5	17.0	17.8	14.9	13.5	15.1	10.8	11.1	7.6	6.5
女性(n=427)	25.8	24.6	22.0	23.4	22.5	17.8	12.9	15.2	16.9	10.3	8.4	7.3	8.0	7.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	18.9	23.0	13.5	35.1	24.3	13.5	14.9	17.6	6.8	10.8	12.2	9.5	2.7	5.4
30歳代(n=106)	13.2	16.0	14.2	49.1	21.7	14.2	10.4	9.4	31.1	10.4	9.4	22.6	5.7	2.8
40歳代(n=165)	19.4	22.4	17.0	33.9	20.0	15.2	19.4	13.3	26.1	9.7	13.9	10.9	8.5	3.6
50～64歳(n=251)	33.5	23.5	24.3	15.5	20.3	19.9	12.0	15.5	11.2	16.3	10.4	10.8	10.0	5.6
65～74歳(n=218)	28.4	22.0	25.2	10.6	17.4	16.1	16.5	19.3	8.3	13.3	9.2	5.5	6.9	11.0
75歳以上(n=204)	24.5	27.5	26.5	7.4	16.7	14.7	14.7	11.8	5.9	12.7	5.9	2.9	8.8	11.8

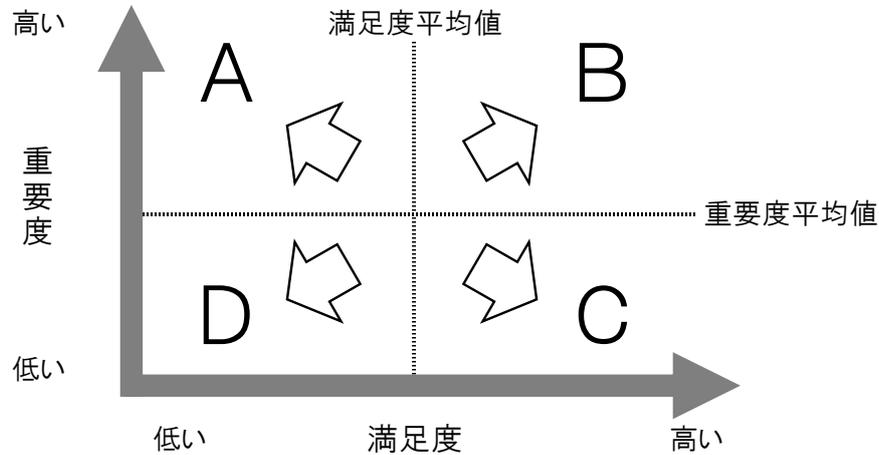
単位 (%)	⑫就労支援と雇用促進	⑮公園や緑地の整備・維持管理	⑰上下水道の整備	④児童・生徒の健全育成	⑤市民の健康づくり	⑧障がい者への支援	⑥地域での暮らしの支え合い	⑮まちなみや景観	⑫地域産業の振興	⑭農業の振興	⑬歴史文化資源や観光資源	⑨文化の振興	⑩平和と人権の尊重	⑩スポーツの振興
全体(N=1023)	7.3	6.5	6.5	6.4	6.4	6.1	4.7	4.7	3.7	2.4	2.1	1.2	1.2	0.7
【性別】														
男性(n=370)	5.4	5.9	5.9	7.6	7.0	6.2	5.1	7.3	4.3	2.4	2.7	1.4	1.6	0.8
女性(n=427)	9.1	6.8	5.6	6.6	6.1	5.6	4.9	3.0	3.3	1.4	1.6	0.9	0.9	0.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	8.1	1.4	4.1	12.2	5.4	9.5	4.1	8.1	0.0	2.7	4.1	1.4	1.4	1.4
30歳代(n=106)	9.4	12.3	2.8	8.5	5.7	6.6	0.9	4.7	2.8	0.9	0.9	0.0	1.9	0.9
40歳代(n=165)	5.5	6.7	6.7	8.5	4.2	4.8	5.5	4.8	5.5	3.0	1.2	0.6	1.8	1.8
50～64歳(n=251)	10.0	5.2	6.4	5.6	5.6	7.2	3.6	6.0	4.0	2.4	1.6	2.4	0.8	0.0
65～74歳(n=218)	6.9	8.3	9.2	2.8	7.8	4.6	4.1	4.6	4.6	2.3	3.7	0.9	0.9	0.5
75歳以上(n=204)	4.9	4.9	6.4	6.4	7.4	5.9	8.3	2.0	2.9	2.9	1.5	1.0	1.0	0.5

【上表のうち年齢別で数値が高い項目】

29歳以下	② 子育てに関する支援 (35.1%) ⑬ 買い物の利便性 (24.3%) ⑭ 公共交通の利便性 (23.0%)
30歳代	② 子育てに関する支援 (49.1%) ③ 学校施設と教育環境 (31.1%) ① 子育てに適している風土 (22.6%)
40歳代	② 子育てに関する支援 (33.9%) ③ 学校施設と教育環境 (26.1%) ⑭ 公共交通の利便性 (22.4%)
50～64歳	⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (33.5%) ⑦ 高齢者への支援 (24.3%) ⑭ 公共交通の利便性 (23.5%)
65～74歳	⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (28.4%) ⑦ 高齢者への支援 (25.2%) ⑭ 公共交通の利便性 (22.0%)
75歳以上	⑭ 公共交通の利便性 (27.5%) ⑦ 高齢者への支援 (26.5%) ⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (24.5%)

満足度と重要度の相関図（報告書 P53～ 問 11）

28 の項目の満足度と重要度の平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度とする散布図を作成するとともに、A～Dの4つの領域に区分し、28 の項目がそれぞれの領域に配置されるのか整理を行った。



A. 重要度が高く、満足度が低い

⇒【重点化・見直し領域】

施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い

⇒【現状維持領域】

現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い

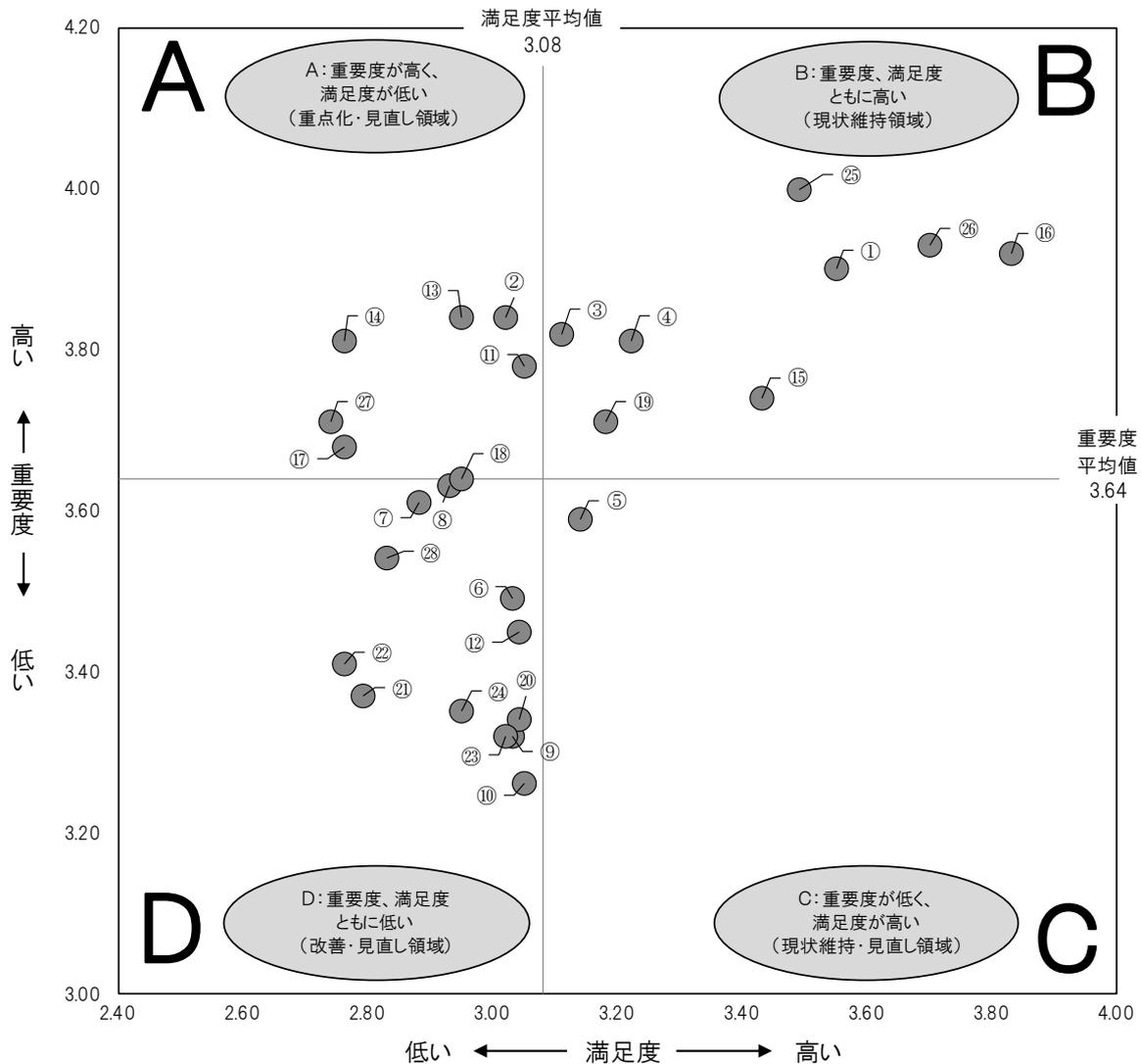
⇒【現状維持・見直し領域】

満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い

⇒【改善・見直し領域】

施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【子育て】	領域
①子育てに適している風土	B
②子育てに関する支援	A
【教育】	領域
③学校施設と教育環境	B
④児童・生徒の健全育成	B
【健康・福祉】	領域
⑤市民の健康づくり	C
⑥地域での暮らしの支え合い	D
⑦高齢者への支援	D
⑧障がい者への支援	D
【生涯学習】	領域
⑨文化の振興	D
⑩スポーツの振興	D
【安全・安心】	領域
⑪防災・防犯の取り組み	A
⑫平和と人権の尊重	D

【まちづくり】	領域
⑬買い物利便性	A
⑭公共交通利便性	A
⑮まちなみや景観	B
⑯みどりや自然を感じられる空間	B
⑰道路の整備・維持管理	A
⑱公園や緑地の整備・維持管理	A
⑲上下水道の整備	B
【地域振興・地域資源】	領域
⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	D
㉑地域産業の振興	D
㉒就労支援と雇用促進	D
㉓歴史文化資源や観光資源	D
㉔農業の振興	D
【環境】	領域
㉕生活環境 (水・空気・ごみ・騒音等)	B
㉖自然環境 (山地・河川等)	B
【行政管理】	領域
㉗効果的・効率的な行政運営	A
㉘まちの魅力の向上・発信	D

【A：重点化・見直し領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度 ^{※1}
② 子育てに関する支援	3.02	3.84
⑬ 買い物の利便性	2.95	3.84
⑭ 公共交通の利便性	2.76	3.81
⑪ 防災・防犯の取り組み	3.05	3.78
⑳ 効果的・効率的な行政運営	2.74	3.71
⑰ 道路の整備・維持管理	2.76	3.68
⑱ 公園や緑地の整備・維持管理 ^{※2}	2.95	3.64

※1 表中の項目は、「重要度」が高い順に並べ替えている。
 ※2 「⑱公園や緑地の整備・維持管理」はAに分類している。

【B：現状維持領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度
⑫ 生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	3.49	4.00
⑮ 自然環境（山地・河川等）	3.70	3.93
⑯ みどりや自然を感じられる空間	3.83	3.92
① 子育てに適している風土	3.55	3.90
③ 学校施設と教育環境	3.11	3.82
④ 児童・生徒の健全育成	3.22	3.81
⑮ まちなみや景観	3.43	3.74
⑲ 上下水道の整備	3.18	3.71

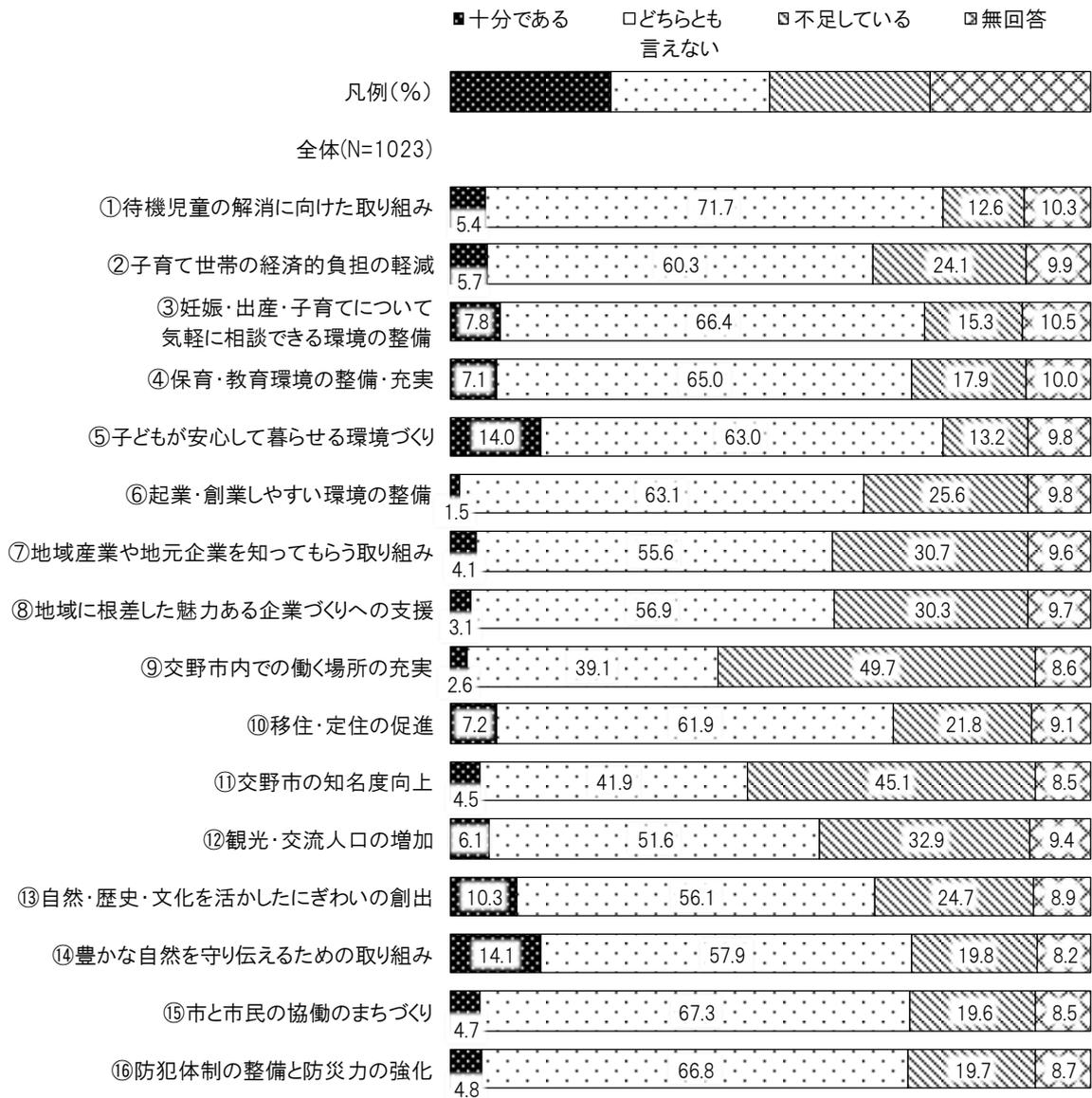
【C：現状維持・見直し領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度
⑤ 市民の健康づくり	3.14	3.59

【D：改善・見直し領域】に含まれる項目

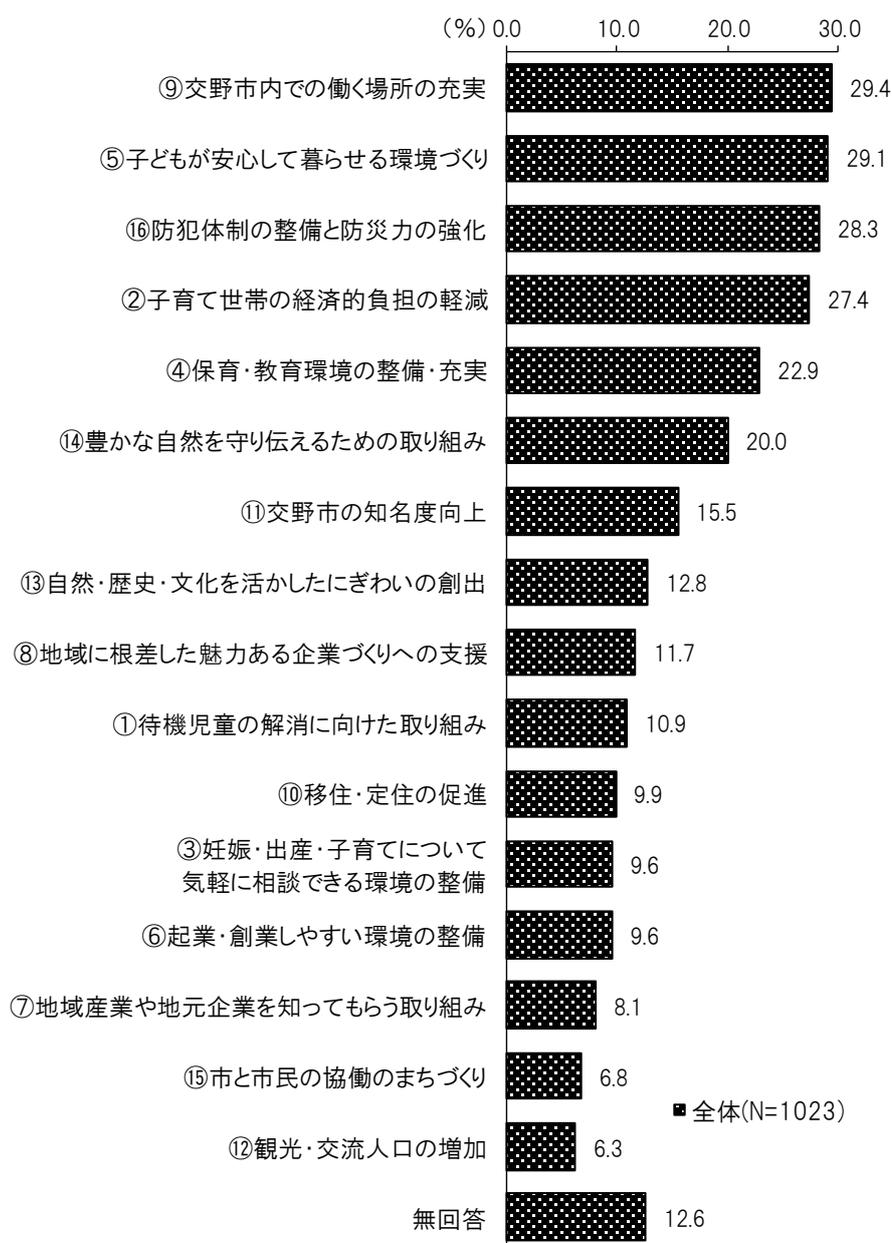
項目	満足度	重要度
⑧ 障がい者への支援	2.93	3.63
⑦ 高齢者への支援	2.88	3.61
⑳ まちの魅力の向上・発信	2.83	3.54
⑥ 地域での暮らしの支え合い	3.03	3.49
⑫ 平和と人権の尊重	3.04	3.45
㉒ 就労支援と雇用促進	2.76	3.41
㉑ 地域産業の振興	2.79	3.37
㉔ 農業の振興	2.95	3.35
㉐ 住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	3.04	3.34
⑨ 文化の振興	3.03	3.32
㉓ 歴史文化資源や観光資源	3.02	3.32
⑩ スポーツの振興	3.05	3.26

交野市の人口減少の取り組みについて（報告書 P62 問 13）



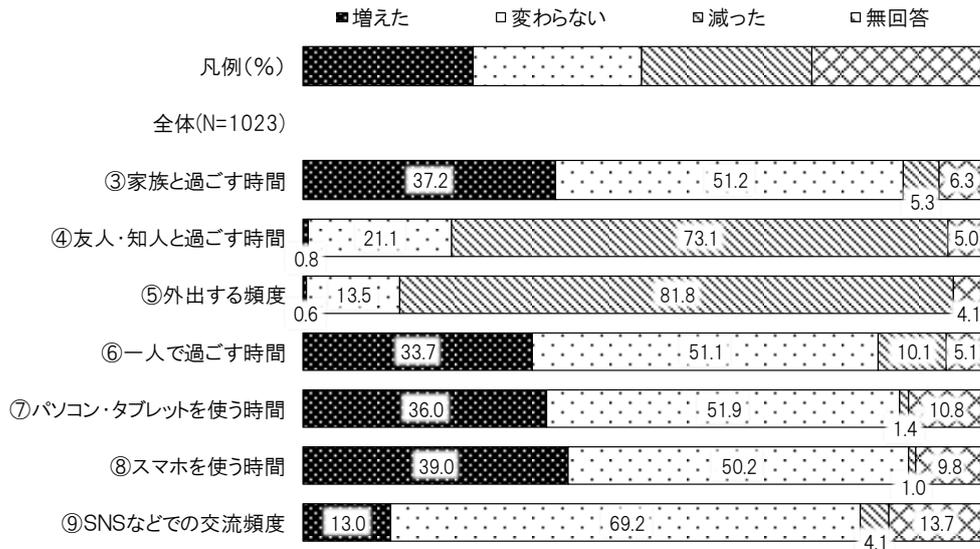
- ・市民からは人口減少対策の取り組みの効果は把握しづらく、全体的に「わからない」の割合が高くなったと考えられる。
- ・「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」のみ、「十分である（14.0%）」が「不足している（13.2%）」を上回った結果となっている。
- ・「不足している」の割合の高い項目に関連する取り組みでは、「地域産業の振興」や「まちの魅力の向上・発信」が重複して挙げられる。

人口減少対策で特に重要と思うことについて（報告書 P63 問 13）



- ・ 重要だと思う項目の関連する主な取り組みは以下のとおり
「地域産業の振興」「雇用促進」「子育て支援」「防犯・防災」「学校施設と教育環境」

新型コロナウイルス感染症による生活の変化（報告書 P106 問 18）



- ・「変わらない」の割合に次いで「増えた」の割合が高い項目
「③家族と過ごす時間」「⑥一人で過ごす時間」「⑦パソコン・タブレットを使う時間」
「⑧スマホを使う時間」
- ・「変わらない」の割合が高い項目
「⑨SNSなどでの交流頻度」
- ・「減った」の割合が高い項目
「④友人・知人と過ごす時間」「⑤外出する頻度」

新型コロナウイルス感染症により困っていること（報告書 P116 問 19）

